

広島大学

▼熊本地震に係る支援活動の概要

1. DMAT、医療支援チームの派遣

・4月16日から4月20日まで、菊池市等へ、2班8名を派遣した。

派遣先	派遣期間	派遣人数
菊池市川口病院	4月16日～4月20日	4名（医師1名・看護師2名・薬剤師1名）
西原村	4月16日～4月20日	4名（医師3名・放射線技師1名）

2. 教職員・学生ボランティアの派遣

派遣先	派遣期間	派遣人数	備考
未定	夏季休暇中	学生 約80名	学生ボランティア団体『OPERATION つながり隊』

3. 支援物資の提供

提供先	派遣期間

4. 義援金募集

寄附先	金額	団体
日本赤十字社	915,197円	
本学罹災学生見舞金	2,730,000円	本学学生
熊本大学（熊本地震復興事業基金）	1,693,872円	

5. 被災大学の学生・教職員支援、被災者への支援（住宅提供等）

- ・被災地域大学の学生・教職員向けに本学図書館サービスを利用できるようにした。
- ・本学職員宿舍の無償提供に関する相談窓口を設置した（自宅での居住が困難となった本学学生家族対象）。
- ・被災地の大学院生、教員に対して、研究スペースの提供、機器の共用等の受け入れ態勢を整備した。
- ・熊本地震で被災された広島大学志願者への入学検定料免除の特別措置を実施した。
- ・授業料免除申請受付期間の延長を行った。
- ・熊本大学から特別研究学生の受け入れ依頼があり、1名を本学国際協力研究科で受け入れた。
- ・上記の特別研究学生に対し、本学学生宿舍を無償貸与する予定。
- ・被災の状況により、3万円から5万円を罹災学生見舞金として交付した。
- ・熊本、大分県内の大学に通う広島県出身の学生を対象に帰省中のこころのサポート事業を実施。

6. 研究活動

- ・文学研究科後藤准教授、教育学研究科熊原准教授が、被災地の現地調査を4月15日から17日まで行い、18日に本学において記者説明会を開催した。
- ・文学研究科奥村教授が現地調査を実施（4/18～4/20）。
- ・工学研究院三浦准教授、宮津助教が現地調査を実施（4/20～4/21）。
- ・総合科学研究科海堀教授が現地調査実施（4/22～4/24）。
- ・工学研究院有尾助教が現地調査実施（4/28～4/30）。
- ・工学研究院宮津助教が現地調査実施（5/3～5/5）。
- ・工学研究院一井准教授が現地調査実施（5/4～5/7）。
- ・工学研究院土田教授が現地調査実施（5/5～5/6）。

7. その他